

平成27年度調査研究事業
「地域活動・ボランティア活動に関する調査」
報告書

(調査研究報告書24)

千葉市生涯学習センター

目次

1. 調査概要	1
(1) 目的.....	1
(2) 調査の方法.....	1
(3) 調査項目.....	1
2. インタビュー調査の実施	2
(1) 調査日時とグループインタビュー参加者一覧.....	2
(2) インタビューフロー（調査票）.....	3
(3) 発言録.....	4
3. 調査のまとめと考察	22
(1) 主な意見まとめ.....	22
(2) 業務改善に向けた提案・アイデアまとめ.....	25

1. 調査概要

(1) 目的

地域活動やボランティア活動をはじめとする社会的な活動に取り組んでいる市民の意識や活動の現状を把握することで、ボランティア活動の一層の推進及び支援の充実を図るための事業計画に反映させるため、ちば生涯学習ボランティアセンターの登録者を対象としたインタビュー調査を実施する。

(2) 調査の方法

①対象

ちば生涯学習ボランティアセンター登録者

②調査対象者数

19人（当初21人予定であったが、欠席2人）

③実施方法

ちば生涯学習ボランティアセンター登録者で過去2年以内に活動の実績があり、現在も活動を継続している者から、性別・年齢・活動内容に偏りが無いように選出し、グループインタビューを行う。

(3) 調査項目

①自身の活動の評価

- ▶各人の活動内容紹介
- ▶活動を通しての満足度
- ▶活動を通して得た経験や参加者からの声 など

②生涯学習センターの評価

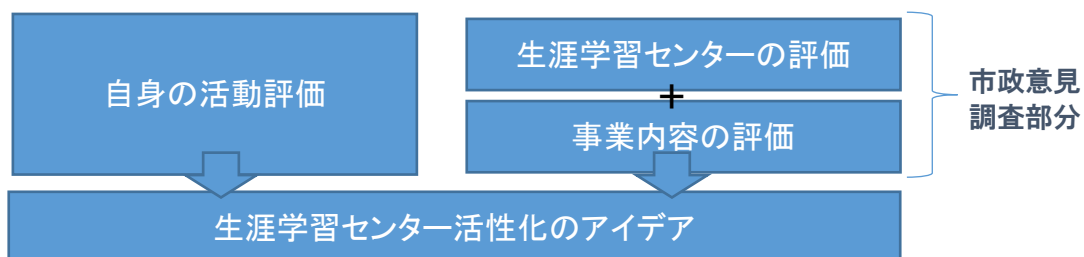
- ▶生涯学習センターの活動について
 - ・リニューアルについて
 - ・その他組織や体制等について

③各事業内容の評価

- ▶ボランティアフェアについて
- ▶館内展示に関する意見や要望
- ▶登録者名簿やインターネットでの団体検索について など

④活性化のためのアイデア

- ▶千葉市として地域活動やボランティア活動を活性化・活発化させるためのご意見やアイデア



2. インタビュー調査の実施

(1) 調査日時とグループインタビュー参加者一覧

	登録番号	活動内容	性別	居住区
2月18日 10:30～				
1	G14-005	・江戸流手打ち蕎麦の伝統を伝えると共にそば打ちの技術を学ぶ ・そば打ちを体験する事で子どもから大人まで健康効果を実感する事が出来る ・蕎麦の科学的な視点から健康寿命を延ばす事を学んだり、江戸時代から440年続く食文化をそばを食べて実感する	男	稲毛区
2	K14-041	いけ花の指導 ・体験学習（総合の時間、歴史の延長で。人数は多くても可） ・放課後や休日を使って1～2時間（ひなまつりや母の日などの行事にあわせて行う、月1・2回定期的に行うなど）	女	花見川区
3	G12-002	ヴァイオリンアンサンブルの演奏会 （対象者に合わせ、親しみやすい曲をわかり易い説明と共に）	女	稲毛区
4	K12-006	ギターソロ演奏（クラシック、童謡専門）	男	美浜区
5	K13-018	ロープ及び紐の結び（飾り）	男	若葉区
2月18日 13:30～				
6	K05-030	脳内活性を図るためのツールとして「雑学」を取り入れた内容（川柳などを含む）クロスワードパズル	男	若葉区
7	K14-036	相続問題 後見人制度 消費者問題 エンディングノートの書き方 ソフトテニスの指導	男	花見川区
8	K11-010	読み聞かせ EXCEL、WORD	女	稲毛区
2月19日 13:30～				
9	K08-043	大道芸・伝承芸能「筑波流正調ガマの油売り口上（つくば市認定無形文化財）」の指導、実演	男	花見川区
10	K14-018	幼児から大人まで、100話余りの素話の中から、要望にあわせて楽しいおはなしの時間を創っていきましょう。絵本やおはなしについての講習会の講師として入る事もできる	女	中央区
11	K05-022	パソコン指導 「お金を掛けずにパソコンでアートを楽しもう」をモットーに、Windows標準装備のソフトを使い、基本的な操作方法の学習に留まらず、その活用法等を研究し、学習過程で得る知識・技術の成果に合わせ、創作することの楽しさを多くの人に伝え、交流を深めることが目的。1人より2人で、3人寄れば文殊の知恵、皆でやればシナジー効果でレベルアップも加速する	男	若葉区
12	G06-003	弦楽カルテットの演奏	女	花見川区
2月19日 15:30～				
13	K06-010	・子どもへのお話し会（絵本読み聞かせ、紙芝居、素話） ・大人への絵本講座（子育てに生かす絵本について） ・読み聞かせをする方への指導、アドバイス	女	稲毛区
14	K14-019	風船工作の基本	男	花見川区

登録番号	活動内容	性別	居住区
2月24日 13:30～			
15	K14-010 少人数のバルーン教室（初級） バルーン配り 10～15分く らいのミニショー（未就学） オーラソーマ（カラーセラピー）	女	花見川区
16	K12-016 パソコン指導/パソコン作業ボランティア ・エクセル 初級～上級指導可 ・ワード 初級、中級指導可	男	中央区
17	K06-004 囲碁を教える	男	稲毛区
18	K08-024 ・安全な料理作り、掃除・片付けの仕方 ・家族の為のカロリーコントロールと食事作り （元は両親の看護と介護の為の1日1500kcalの食事作りで したが、私や家族のダイエットにもなりました。ちょっとした コツをつかんで健康管理に役立てて頂ければと思う）	女	稲毛区
19	K05-044 フルーツの演奏	女	稲毛区

(2) インタビューフロー（調査票）

はじめに	▶挨拶・趣旨説明等
	▶自己紹介（どういうジャンルでボランティアに登録しているか。 本活動以外の地域でのボランティア参加の有無）
自身の活動の 評価	▶各人の活動内容紹介 ボランティアセンター登録のきっかけ これまでの活動実績 直近の活動内容の紹介
	▶活動を通しての満足度 自身の満足度 ▶活動を通して得た経験や参加者からの声 （印象に残った言葉など）
生涯学習センター の評価	▶生涯学習センターの活動について 講座・イベント情報の認知 （2016年2・3月号P4で紹介されている）施設リニューアル認知 リニューアルについて自身の活動で役に立つもの センターの活動の満足度 ソフト面・ハード面での意見や要望
各事業の評価	▶ボランティアフェアについて 参加や協力をしたことはあるか/今後の実施に向けたアイデア ▶館内展示に関する意見や要望 ▶登録者名簿やインターネットでの団体検索について ▶ボランティア活動の広報・PRについて
活性化のための アイデア	▶千葉市として地域活動やボランティア活動を活性化・活発化させ るためのご意見やアイデア 他の活動などを踏まえた意見 自身のボランティア活動をさらに活発にするための要望 発表の機会の場の充実について

(3) 発言録

2月18日 10:30～

	G14-005	K14-041
自己紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・稲毛区 ・日本蕎麦から波及する活動を国内、海外で行なう。 ・蕎麦打ちを始めたのは13年前から。勤務していた会社でリタイア後の生活についてのレクチャーがあり、そこで趣味として残ったのが蕎麦だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・花見川区 ・教員として、小学校で20年、中学校で18年勤務していた。 ・池坊の生け花の支部役員。 ・去年からボランティアセンターで活動。
ボランティアセンター登録のきっかけ	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館主催の育児ボランティアに参加したときにその講師からすすめられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生け花は40年以上。現役時代は生徒に教えるくらいだった。 ・リタイア後に何か役に立つことをしたいと思った。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・6年ほど前から調理実習室を借りて、シニア対象の蕎麦体験教室を開く。 ・生涯学習アカデミーちばで年1回蕎麦体験教室。 ・蕎麦の良さをしてもらおうこと、集まってくれた人がグループ活動を続けてくれるところまで考えてやっている。 ・習志野市の小学校で体験教室。 	<ul style="list-style-type: none"> ・泉高校の授業のインタビューを受け、それを機会に中学校のクラブで生け花体験教室をするようになった。そこから話が進み2～3月にショーケースに生け花を展示している。 ・昨年11月のボランティアフェアで声をかけてもらい一日だけ生け花体験教室の講師をした。
ボランティア活動で印象に残っていること・満足度	<ul style="list-style-type: none"> ・一度の蕎麦打ちで12～18食できる。それを持ち帰り、家族以外の人にも配ることでつながりができる。そこからボランティア精神が芽生える。自分も人を集める、自分の作ったものを人にあげること、それを継続していく。 ・蕎麦のボランティアグループでボランティアポイントの手帳をつくり、ポイントがたまるのが楽しい。 ・小学校の体験教室で出会った子どもが大人になって訪ねてきてくれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・花を生けるのはそれぞれの個性が出て、おもしろい。 ・ちょっとしたアドバイスで生け花が生きる。それがわかると喜んでもらえる。 ・展示の花の手入れをしに来ると、声をかけてもらえて、話が弾むこともあり、やっていて良かったと思う。
ボランティアセンターの施設・組織について	<ul style="list-style-type: none"> ●センターのリニューアルについて ・初めて聞いた。 ・機材のリニューアルが中心であれば、こちらの活動に影響はないと思う。 ●意見・要望 ・蕎麦打ちの道具類はかさばるので、置いておける倉庫や貸しロッカーなどがあると良い。道具の置き場があれば、ここを活動拠点にしやすいし、活動の回数を増やせる。場所は良いので、置き場さえあればと思う。 ・普段は2カ所の公民館に預かってもらっている。そこは週に4～5日使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●センターのリニューアルについて ・パソコン教室で聞いた。 ●意見・要望 ・一般の人がこのボランティア活動についてどのくらい知っているのか疑問である。教員だったときに、このような団体のことを知っていれば活用できたのと思う。 ・ここを利用しているからネットの検索システムのことを知っているが、そうでない人はあることすら知らないで利用しない。 ・このようなボランティアネットワークがあると、市民に広く知ってもらったほうが良い。

G12-002	K12-006	K13-018
<ul style="list-style-type: none"> ・稲毛区 ・ヴァイオリニスト ・昔から個人的にソロとしてボランティアをやってきた。 ・月2回新宿公民館を借りて練習、それ以外は外で活動している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・美浜区 ・高校時代からクラシックギターを弾いている。 ・登録はギターだが、囲碁や絵、パソコンなどもできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・若葉区 ・文科省関連、県の主体で創設された総合型地域スポーツクラブ事務局長。 ・クラブ創設時から何かできないかと言われ、ロープのメーカーに勤務していたので、さまざまな結び方を知っていたことから、高齢者の脳トレにと月に一度、飾り結びを始めた。
<ul style="list-style-type: none"> ・個人的に昔からソロでボランティアをしていた。 ・2010年、生涯学習センターの講座の講師を依頼され、そこで集まった生徒とボランティアを始めた。半年間の講習で終わったのだが、まだ続けたいと思い、2011年にセンターに団体として登録することになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登録は5～6年前からだが、声がかかったのは一昨年から。 ・演奏会で手製のクリスマスカードやカレンダーをあげたことから、昨年12月からパソコン教室で助手をするようになった。また参加したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブで知り合った人からボランティアセンターを紹介されて登録した。 ・1階で飾り結びをやったところ、それを見た人からの紹介で、あやめ台のセンターで5日間、1回につき15人くらいで教室をした。それが縁でショーケースの展示物を作成したりしている。
<ul style="list-style-type: none"> ・センターでは2011年、震災の年に、子ども対象の演奏会をした。 ・他は外での活動が主。病院、施設など。センターを通じての場合もある。 ・作草部の地域生活支援センターふるでの演奏会。 ・対象、年齢、場所もさまざま。初心者が演奏できるように曲や譜面を工夫して作っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一昨年、檜橋のいきいきプラザのデイサービスで高齢者にむけてクリスマス用の演奏会をした。 ・昨年からパソコンで手づくり手帳をつくる教室の助手をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・月に一度、飾り結びで動物、花、コースターをつくる。 ・最近では寒川小学校で30人の児童を対象にコースターを作成した。予定時間内のできる子もいればできない子もいる。
<ul style="list-style-type: none"> ・他グループと差別化するために、私たち独自のもの、楽しめるものを、と工夫するようになった。 ・昔使っていた楽器を持ち寄り、触らせる体験をしているが好評である。聞かせるだけでなく、体験をしてもらい、それを思い出して喜んでもらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・演奏は反省点のほうが多かった。音響設備などもあり、聞こえない人もいたと思う。 ・演奏後に感想を言ってもらえて、次に生かそうと思える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校では1時間半の予定時間が2時間になり、孫くらいの年の子どもたちと遊べて良い経験になった。 ・子どもたちは騒いでいても、「教えて」と頼ってくるのがうれしい。 ・スポーツクラブでは高齢者が病気で震える手で作品を作ってきてくれて、休まずに通ってくれる。生き甲斐を感じる。
<ul style="list-style-type: none"> ●センターのリニューアルについて ・初めて聞いた。 ●意見・要望 ・2011年に登録して5年経ったが、頻繁に担当が変わり、最初から説明することがある。引き継ぎをしてほしい。プロフィールや活動の状況など団体のことを分かってくれれば、やりやすい。 ・最初は無料だったことがあったが、今は有料なので、練習は主に公民館を利用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●センターのリニューアルについて ・初めて聞いた。 ●意見・要望 ・施設の人、一般の人にもっと宣伝できないか。例えば音楽の団体に集まってもらって演奏会をするなど、施設、一般の人に活動を宣伝できるような企画をできないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●センターのリニューアルについて ・初めて聞いた。

	G14-005	K14-041
ボランティアセンターの各種事業について	<p>●ボランティアフェアについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アトリウムで色々してみたかったが、音などの使用制限があった。 ・最初、フェアに来たときに学園祭をイメージしていたが、ちょっと違った。一般の人は来にくいのではないか。 ・もっと色々な枠を自由にとって、登録されている団体が人を勧誘出来るようにしてはどうか。メンバーは黙っていると減っていく。何か催物をするたびに増やしていくようにできると良い。 <p>●イベント情報について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットの露出度を高めたほうが良いのでは。町のレストランや商店に置いても良いのではないか。協力してくれる所を増やせば、人も増えていく。 	<p>●ボランティアフェアについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェアに参加した。 ・センターの人には良くしてもらった。生け花はお金がかかるが、実費も徴収し、集金もやってもらった。やりやすかった。 ・今年もあれば参加したい。 ・初心者の作品にも面白いものがあり、勉強になった。子どもや男性も参加してくれた。刺激になった。
ボランティアセンターの活性化にむけて	<ul style="list-style-type: none"> ・国際フォーラムでやっているようなイベントは参考になると思う。一カ月間、色々な催しをしながら体験してもらおう。そのような場があると良い。 ・他の活動している人たちと繋がることできると、おもしろいことができそう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表の場がほしいが、千葉市で集客できる所となると、デパートやホテルだが、高価でできない。公共施設でそのような場所ができないかと思う。 ・千葉市に活動拠点があるのに、発表会のために津田沼モリシア(5日間借りて50万円)まで行っている。 ・利便性があるのに、そういう所がないから他の人たちに知らせることができない。 ・もう少し気楽に発表の場を持てると、知らせやすい。 ・文科省の伝統文化子ども教室のようなことを、生け花、茶道などで集まってやってみたいが、私たちでは団体を集めることができない。そのようなことを企画してもらえればと思う。 ・以前、ボランティア対象の折り紙を習ったときに、講師から「ボランティアは自分から動かないと仕事はない」と言われた。

G12-002	K12-006	K13-018
		<p>●ボランティアフェアについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェアに参加した・自分が教えている「講座教室」という商品をいかに売るか。興味をもってもらう方法、アイデアを知りたい。勉強したい。 ・作品を持って帰れて、家で使えるものを教えると面白いのではないかと思った。 ・仕上がり時間は人によってばらばらだが、楽しんでもらえた。そういうのを感じてもらえるようなことをしたい。 ・話を聞くだけでなく、モノができる、自分できるという体験は満足度が高い。 <p>●イベント情報について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館は一般の人はなかなか行かないが商店、スーパーなら行く。そのようなところでパンフレットを配れば目にしてもらえるチャンスが増える。 ・新聞の折り込みチラシに入れてもらうのも良いのではないか。
<ul style="list-style-type: none"> ・12月にアトリウムコンサートは出演の募集があるが、ボランティア団体だけでなく、一般の人も応募できるのでいつも応募者が多く抽選になる。 ・春夏秋冬であるとちょうど良いと思う。 ・以前、幕張で演奏したが、次々に声をかけてもらったので、口コミで伝わっているのだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サークルに入っていない演奏者をコーディネートしてくれる仲介役がいると良い。センターで積極的に繋いでいってくれれば良い。そのようなことがあると、練習にも力が入る。 ・例えば生け花と茶道のコラボ、蕎麦とうどんのコラボなど。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア同士の横のつながりが無い。 ・出会う場を作ってもらえないと、なかなか出会えない。一人だけ、一団体だけでは限界がある。 ・サークル内で事務などをやっても、全てに目がいくわけではない。それであればこれもと色々まとめていくのは大変。今回のように、集めてもらって、意見を出し合うような場を作ってもらえるといい。

	K05-030	K14-036
自己紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・若葉区 ・定年後に何かしたいと考え、得意だった雑学、ギターを生かそうと思った。 ・千葉県の文化振興課にも登録。それほどお呼びはかからなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・花見川区 ・前職は高校の教員。 ・行政書士、終活カウンセラーなどをしている。
ボランティアセンター登録のきっかけ	<ul style="list-style-type: none"> ・2005年にボランティア登録 ・アルバイト先の老人ホームにコミュニティセンターの元気会の人ボランティアに来て、知りあい、川柳、雑学の講座をすることになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットで調べて知り、登録。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な例題をとりあげて雑学を伝え、それを持って帰って話題にして会話をすることで脳内活性に役立ててほしいと思っている。 ・問いかけをして答えてもらう、一方通行にならないように心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館で後見など高齢者の市民相談。 ・終活相談。できるだけ情報を伝えていく。高齢者はネットよりも直接会って話すほうが良い。 ・スポーツ指導員としても登録。テニスの指導。土・日に小学生のクラブチームを指導。 ・1回2時間くらいでレクチャー。 ・来年のスケジュールを聞かれて驚いた。
ボランティア活動で印象に残っていること・満足度	<ul style="list-style-type: none"> ・役に立ったと言ってもらえる。 ・80代の人からお礼を言われてうれしかった。 ・反省するところもあるが、気づくことも多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートをとってもらっているが、評価は気になる。 ・8～9割は良かったと言ってもらえている。 ・みんなよく聞いてくれている。言葉を正確に伝えるのは難しいと感じる。 ・重要な問題を抱えてきているので、なおさら正確にきちんと伝えたいと思う。 ・あまり深刻でも良くないし、明るすぎても良くない。そこが難しい。 ・パワーポイントで説明しているが、作成が大変。
ボランティアセンターの施設・組織について	<ul style="list-style-type: none"> ●センターのリニューアルについて ・知らなかった。 ・そんなに古くは感じなかったが。 ●ボランティアセンターについて ・12月のまなびフェスタに参加し、研修室で何度か講座をした。 ・以前はボランティアどうしの懇親会のようなものがあつたと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●センターのリニューアルについて ・知らなかった。 ・今のスクリーンが小さく、パワーポイントが有効に使えないので、スクリーンを大きくしてほしい。 ●ボランティアセンターについて ・登録者同士で集まって何かできないかと思う。ネットワークは大事。

K11-010

- ・稲毛区
- ・子どもが幼いころに人形劇団で人形を作ったり、司会、手遊びなどをしていた。
- ・定年後に赤ちゃんの読み聞かせで保健センターに登録し、ずっとやってきた。
- ・図書館で地域のお話ボランティアの研修を受け、地域のお話ボランティアに参加。

- ・パソコンで登録
- ・登録はずいぶん前にしていたが、なかなか呼びがかからなかった。
- ・昨年12月にボランティアセンターのスタッフと知り合い、経理の仕事で使っていたエクセルを生かし手帳作成の企画を持ち込み、採用された。

- ・エクセルを活用したマイ手帳づくりを企画した。自分が学んだことが役に立つ、テキストやつくった資料が持って帰れるというお得感をモットーにしている。
- ・老若男女、さまざまな人が来て、習熟度に差がある。6人スタッフがいたが、時間が足りなくて、受講した人もあまり楽しめなかったかもしれない。
- ・講座を持つことで自分の勉強になった。
- ・2日間の講座だったが、3日間にすれば良かったと思った。
- ・企画を出すときは時間を遠慮しないほうが良い。

- ・80すぎの初心者という方がいたが、スムーズに作成をすませた。普段からの過ごし方、向学心がすごい。驚かされる。
- ・なかなか操作ができない高齢女性がいたが、日付欄に夫の命日をずっと入力しているのを見て、丁寧にしようと思った。でも、できないかもしれないと言われてがっかりした。
- ・こちらの意図する習熟度、理解度とマッチングしていない人がくることもある。こちらがあれもこれもとつめこんでも理解してもらえない。

- センターのリニューアルについて
- ・知らなかった。

- ボランティアセンターについて
- ・研修の受講料が高い。学びあうということであれば、すでにボランティアでやれる人がいるので、そういう人を活用して、受講料を下げれば、もう少し、安心できるのではないかと。1回5000円というのは年金生活者にはきびしいこともある。

	K05-030	K14-036
ボランティアセンターの各種事業について	<ul style="list-style-type: none"> ●ボランティアフェアについて ・ボランティアフェアに出たが、それほど集客はなかったが、活力になった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ボランティアフェアについて ・参加した。展示など。
ボランティアセンターの活性化にむけて	<ul style="list-style-type: none"> ・バルーンアートの方が登録したものの引き合いが少ないと言っていた。自分も年に2~3回くらいである。ギター演奏と歌のボランティアをする場合、自分から求人広告などで介護施設を探して、企画をもちかけている。それで週に1~2回の活動ができた。リピーターもできる。そこからつながりもできる。ボランティアは自分から活動の場を作らなければならないと思う。 ・老人ホーム、介護施設などに行くときには登録名簿を持っていくようにしている。そういう所にも名簿を配布してはどうかと思う。 ・集客が一番の問題。個人ではたいしたことができない。キャッチコピー、パンフレットの作成と配布、日にちなど色々考えることがある。アドバイスなどがほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・能動的な人が集まって、何かやろうとできるように、横のつながりを作っていける場があると良い。そのようなまとめる企画を作ってほしい。 ・自治会、子ども会、老人会の定例会などの日程が分かれば、そこに出向いていくことも出来ると思う。 ・個人で出来ることには限界がある。ある程度、組織化して、かといってかたくなにならず弾力性を持たせて動けるといいのではないか。 ・たとえば、貧困家庭に教育が行き届かないことが問題になっているが、退職した教員や教えられる人をプールして派遣できるように組織的にできないだろうか。こういうことは個人ではなかなかできない。

K11-010

●ボランティアフェアについて

- ・メディアエッグで活動している人たちの紹介でお手伝いした。
- ・防災、相続、後見人など身近で時代にあったテーマをもっととりあげてほしい。
- ・レベルがバラバラに感じる。

- ・受け身。お呼びがかかるのをまっている状態が多い。
- ・コーディネーターがいると良いと思う。
- ・ただ学ぶだけでなく、みんなで楽しくすごせるようなイベント、企画があると良い。音楽だったら奏者も聞き手も気軽に自由参加できるようなものがあると良い。
- ・ボランティア活動の場、発表のチャンスが少ない。
- ・一方通行の学びではなく、参加型の学びができると良い。
- ・「生涯学習センターの紹介」と分かるお墨付きのようなもの（身分証など）があると動きやすい。
- ・1つ企画、イベントをたてて、プログラムを組んでいくとやりやすい。
- ・センターが核になって、リーダーを集めてネットワーク化していくと良い。
- ・自分が手づくり手帳の企画をもちかけたときに、センターのスタッフがこちらの要望を聞き入れて人員を集めてくれた。そのようにある程度分かっている人がいて、必要な人やモノを集めてくれると動いてくれるとやりやすい。
- ・最初の一步は自分だが、そこから先はセンターなどの助けが大事になる。
- ・フェアなどは柔軟かい発想で参加しやすいものにしてほしい。

	K08-043	K14-018
自己紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・花見川区 ・大道芸(がまの油売りの口上)で登録。 	<ul style="list-style-type: none"> ・稲毛区 ・児童相談の仕事。 ・お話、語りのボランティア。
ボランティアセンター登録のきっかけ	<ul style="list-style-type: none"> ・以前からボランティアセンターがあることを知っており、がまの油売りの口上をやるチャンスがあればと思い、5～6年前に登録した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・30年ほど前から個人で、学校での読み聞かせや大人向けの講座などの活動をしてきたが、一時、中断していた。5年ほど前にセンターから声をかけてもらい、登録して、再開した。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県内では農業交流センターの春・秋のお祭りで上演。県内外で広くやっている。 ・千葉では小学校で大道芸をしている。小学生にはまだ難しいようで、一般の人のほうがやりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園、放課後子ども教室で子ども向けに、いきいきプラザで高齢者向けに手遊び、素ばなしをしている。
ボランティア活動で印象に残っていること・満足度	<ul style="list-style-type: none"> ・伝承芸能を伝えていくという目的がある。昔の雰囲気が味わえてうれしいと言われることがあり、目的が少しでも達せたと感じてうれしい。 ・子どもはやはりまだ分からないことが多いようで、難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者とのかけあいで生まれるリズムを見て、話を決め、進めていくようにしている。 ・話を進めていく中で、子どもたちがそれぞれ心に触れることがあると表情が変わる。その一瞬の出会いをとらえ、お互いにそれをもらって帰ると考えている。
ボランティアセンターの施設・組織について	<ul style="list-style-type: none"> ●センターのリニューアルについて ・初めて聞いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●センターのリニューアルについて ・初めて聞いた。

K05-022	G06-003
<ul style="list-style-type: none"> ・若葉区 ・コンピュータ会社に勤務していた。社内の技術者に教える立場だった。 ・パソコン講座のボランティア。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑区 ・有吉中学校区青少年育成委員会会長。 ・弦楽四重奏楽団「プー・カルテット」でボランティア活動。
<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア養成講座に参加したら、そこで知り合った人に誘われた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 13 年、センター開設当時に、バイオリン奏者養成講座という主催事業の 2 期生。そこで知り合った人同士で、2005 年にカルテットを立ち上げた。 ・子育てが終わりバイオリンを再開させようとしたときに生涯学習センターのことを知り、2006 年に登録。
<ul style="list-style-type: none"> ・定年退職後、特技のパソコンを中心に活動している。 ・デジタルアート研究会で週に 1 回、パソコンを使って絵を描くことを中心にしている。 ・自主企画講座を自分で申込み、採用されたら講座をひらく。そこで、会員を募り、いくつかユニットができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習センターの事務からの紹介で花見川のおいききプラザのデイケアで演奏。 ・小学校での演奏とワークショップ。 ・アイリス幼稚園、こどもルーム、わかばおいききプラザなど。 ・リピーターもいる。 ・幼稚園は 30 分、小学生は 50 分、年配の方は伴奏にして歌いたいということが多いので 1 時間くらいの時間配分にしている。 ・以前、地下アナウンスブースを使っていたが使用できなくなった。音楽スタジオは利用料が高いので、普段はコミュニティセンターで練習している。
<ul style="list-style-type: none"> ・絵のテーマを出して、動かしてみようと、マウスの使い方をしっかり教えるようにしている。「でたらのすすめ」ということで、なんでもいいから動かしてみ、そこから何か生まれるということを大切にしている。自分の殻を破るということでもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちは楽器を触りたがる。楽器に関するクイズをしたり、実際に触れて、演奏するなどの体験を取り入れるようにしている。 ・年配の方にはどのような曲がいいのか悩むことが多いが、美空ひばりは誰にでも喜ばれる。最近になって、もっとクラシックを聞きたいと言われ、「G 線上のアリア」を弾くと喜んでくれた。
<ul style="list-style-type: none"> ●センターのリニューアルについて ・受付で聞いたかもしれない。 ・パソコンやソフトが新しくなるのであれば、それに対応しなければならないが、まだ詳しいことは教えてもらっていない。事前に備えたいのだが、備えられない。そのような情報がほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●センターのリニューアルについて ・初めて聞いた。

	K08-043	K14-018
ボランティアセンターの各種事業について	<ul style="list-style-type: none"> ●イベント情報について <ul style="list-style-type: none"> ・初めて見た。 ●ボランティアフェアについて <ul style="list-style-type: none"> ・3～4年前にがまの油売りで参加したことがある。アトリウムで実演。色々なお客さんもいた。 ●ボランティア一覧名簿について <ul style="list-style-type: none"> ・実際に使うとなると難しいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●イベント情報について <ul style="list-style-type: none"> ・初めて見た。 ●ボランティアフェアについて <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、ミニお話をした。司会もした。色々な活動をしている人がいて、司会をしているときに会えて良かった。 ・その前年度よりも企画が変わったと思った。その時は地下のメディアエッグで、人の動線上にないので、もったいないと提案した。 ・ボランティアフェアでは、ここにすれば楽しいということが見えると良いのだが。 ●ボランティア一覧名簿について <ul style="list-style-type: none"> ・名簿はどの程度、活用されているのか、利用した人の反応はどうなのかを知りたい。 ・私立の幼稚園などが早期教育のためにボランティアを呼びたいというときに活用しているのかと思う。 ・良い利用の仕方をしてくれるといいと思う。 ・ボランティアだから安く上がるということではなく、聞き手と喜びを共有したりできると良い。そういう機会になれると良い。
ボランティアセンターの活性化に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ●ボランティアセンターを通じた活動について <ul style="list-style-type: none"> ・研究会に2つ所属して活動している。市民活動支援センター、社会福祉協議会は積極的に声をかけてくれる。センターからは声がかかることが少ない。 ・センターからは学校関係、小学校の依頼が多いが、低学年は難しい。紙芝居など色々工夫してみるが、それぞれの年齢にふさわしいものがあると感じる。 ●ボランティアセンターを周知するために <ul style="list-style-type: none"> ・千葉は文化施設が少ない。民間委託で有料になり、使いにくくなり、ますます発表の場がなくなる。 ・ボランティアセンターを知ってもらう方法は色々あると思う。 ・センター経由で来たということが分かる様に、ボランティアをやっている場所で旗やのぼりを掲げて、ボランティアの所属意識を高めるとともにセンターの存在をアピールするなどはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ボランティアセンターを通じた活動について <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアを必要としている所はあると思う。営利目的でない母親たちでやっている小さな団体などにも届けることができれば良いと思う。なかなか草の根的には広がっていない、つながっていないのかもしれない。 ・1つ終わると、それでおしまいとなりがちで、次につながっていかない。 ●ボランティアセンターを周知するために <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習センターの1階の入口に活動の告知、情報掲示板などがあるといいのでは。ボランティアセンターのある2階まではなかなか上がってこないのでは。

K05-022	G06-003
<ul style="list-style-type: none"> ●イベント情報について <ul style="list-style-type: none"> ・目にはしているが、手に取ったことはない。 ●ボランティアフェアについて <ul style="list-style-type: none"> ・フェアのことは知っていたが、参加したことはない。以前、動画で参加したいと思ったときに音を出すのはダメと言われて、やめた。 ●ボランティア一覧名簿について <ul style="list-style-type: none"> ・センターはPRをできないと聞いた。ロコミしかないようだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●イベント情報について <ul style="list-style-type: none"> ・きちんと見るのは初めて。 ●ボランティアフェアについて <ul style="list-style-type: none"> ・フェアの前身のボランティアパークには第 1～3 回まで参加したことはある。励みになった。 ・2011 年から、日程の融通がきかなくなり、参加していない。 ・ボランティアフェアをきちんと総括してほしい。 ・ボランティアパークのときに他団とは交流したこともあるが、それもコーディネートしてくれる人がいたのだと思う。 ●ボランティア一覧名簿について <ul style="list-style-type: none"> ・利用する側がこの名簿を知っていることが大切。 ・センターは年間何件受け付けているのかといった数字をだして、千葉市の広報に乗せるなどしてはどうか。存在を明らかにする。
<ul style="list-style-type: none"> ●ボランティアセンターを通じた活動について <ul style="list-style-type: none"> ・学校に派遣されることがあるが、学校によって違いがある。校長や教頭が熱心かどうかで現場の先生にも影響が出る。 ・自分で開拓するのが一番良い。ロコミで人が増えるのが理想的。 ・体験コーナーを設けて、おもしろいと思ってくれた人はまた来てくれる。それを場所を借りてーからしなければならぬ。 ・支援しようと思ってもらうまでが大変。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ボランティアセンターを通じた活動について <ul style="list-style-type: none"> ・センターができる以前は教育委員会から依頼がきていた。熱心な教頭先生がいて、異動になってもそこに呼んでくれたりした。誰が、コーディネートするかは大きいと思う。 ・ネットが普及しているので、ホームページを充実させるなどしてはどうか。 ・需給がマッチすると良いのだが、供給はあっても需要は少ない。 ●ボランティアセンターを周知するために <ul style="list-style-type: none"> ・演奏前の挨拶にボランティアセンターから来たと言ったことがないと気づいた。次回からは言うようにしたい。 ・センターのロゴやマークがあるとプログラムや歌詞カードにつけられるので良いと思う。

	K06-010	K14-019
自己紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・稲毛区 ・最初から登録している。 ・子どもから大人まで読み聞かせ、読み聞かせの指導、紙芝居、対面朗読。 	<ul style="list-style-type: none"> ・花見川区 ・2年前くらいに登録。 ・5年ほど前に社会福祉センターでバルーンアートの講習会から始めた。 ・バルーンアートの初歩的なことを教えている。
ボランティアセンター登録のきっかけ	<ul style="list-style-type: none"> ・14、5年前に読書アドバイザーの資格を取り、子どもの通う小学校でボランティアをしていた。 ・もっと色々な所でできれば良いと思い、生涯学習センターがボランティアを募集しはじめたときにすぐに登録した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校のセーフティーウォッチャー（見守り）を11～12年まえからやっており、知り合った人達から紙芝居、人形劇、パントマイム、腹話術などを紹介してもらい、そこでバルーンアートをすすめられ、講習会にでることになった。とりあえず、初歩の簡単なものを教えられようになりたいと始めた。 ・千葉市のボランティアセンターから生涯学習センターのことを聞き、登録した。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・都内、千葉県内で活動。千葉そごう、千葉銀座図書館でボランティア活動を月一回やっている。 ・孫育て講座で大人向けに絵本の読み聞かせの指導など。 ・モノレール祭りなどのイベントでも紙芝居など。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども対象が8割。社会福祉協議会から、高齢者向けのイベントや盆踊りなど。
ボランティア活動で印象に残っていること・満足度	<ul style="list-style-type: none"> ・本を読み終わったときに小さな子どもが頭をなでてくれたり、集まってきてくれるとうれしい。 ・読み聞かせをする人は多い。誰でもできると言われるが、そうではない。子どもが喜ぶのを見て、親が喜び、本を読んであげようとなる。そうしてくれるとうれしく、別の喜びがある。 ・親が本を読まない、子どもは本を読むようにはならない。親の教育が必要だと感じている。大人向けの講座、指導へのシフトもしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わくわくキャンパスで、こんなことは誰でもできるのだが、それを教える人がいないと言われた。簡単なことを教えて、子どもたちが楽しむことが大切だと思った。 ・子どもは自分で作って遊ぶのが楽しい。先生などからお礼を言われると、うれしい。それが生き甲斐である。 ・去年来た子どもが、また来てくれるのがうれしい。
ボランティアセンターの施設・組織について	<ul style="list-style-type: none"> ●センターのリニューアルについて ・知らなかった。 ●意見・要望 ・生涯学習センター、社協、市などボランティア登録がたくさんある。それがどう違うのかなどが理解できていない。 ・学校はお母さん方のロコミ、図書館は図書館の講習会の参加者同士でとなっている。それを打破したくて登録した。 ・本は自腹で買っている。自分に投資して奉仕する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●センターのリニューアルについて ・ボランティアの要請の時以外には、あまり寄らないので、知らなかった。 ●意見・要望 ・高齢者、退職者向けのものというイメージが強かったがそうでないと知った。生涯学習という名前が固く感じる。 ・スーパーマーケットのイベントなどに行くと名簿を見たという人もいる。 ・材料費がかかることを分かってもらえていないこともある。

	K06-010	K14-019
ボランティアセンターの各種事業について	<ul style="list-style-type: none"> ●ボランティアフェアについて <ul style="list-style-type: none"> ・昨年、公民館長対象の講座をした。 ・ボランティアセンターどうしてつながりがあるのかと思っていたが、なかったのもったいないと思った。 ・違うジャンルでは交流がない。 ●イベント情報について <ul style="list-style-type: none"> ・見たことはある。 ●ボランティア一覧名簿について <ul style="list-style-type: none"> ・最初は名前を載せていたが、今はない。センターが取り次いでくれるなら、名前は掲載しなくてもよい。 ・たしかに名簿の情報だけでは分かりにくいこともある。 ・名簿掲載内容については一定の線引きは必要だと思う。また、リンク先のブログについても写真掲載などの管理のルールをきちんと提示することが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ボランティアフェアについて <ul style="list-style-type: none"> ・昨年、出た。 ・もっとPRしても良いのではないかと思った。 ・イベント情報も。 ・活動がうまく伝わっていない。 ・横の交流があつて切磋琢磨するほうが良いのではないか。 ●イベント情報について <ul style="list-style-type: none"> ・初めて見た。 ●ボランティア一覧名簿について <ul style="list-style-type: none"> ・名簿だけでは分かりにくいので、希望者に限るが、ブログの情報なども掲載しても良いのではないか。 ・ただし写真などの扱いには注意が必要。
ボランティアセンターの活性化にむけて	<ul style="list-style-type: none"> ・個人で出来ることには限界がある。ボランティアセンターどうして連携があれば、もっと出来ることではないか。 ・他の組織のことを知らないのがネックになることもある。他の組織についていくことで勉強になることもある。 ・ボランティアの名の下に、交通費も出ないなど、いいように使われてしまうことがある。そのようなことがあるとボランティアの意識も下がる。 ・依頼するほうの意識の啓発も大切ではないだろうか。ボランティアのスキルアップにもつながると思う。 ・外に向けての発信の仕方をレクチャーしてほしい。 ・センターのバックアップ、後ろ盾を証明となるようなものがあるといい。認証、身分証明書など。 	<ul style="list-style-type: none"> ・横のつながりがあると助け合える。助手がいると助かることも多く、共同作業することで今後のスキルの向上に役立つことにつながる。 ・悪天候や寒いなど環境の悪い所で実演することもある。子どもの笑顔で帳消しになるとこともあるが、そのようなことに配慮がほしい。 ・学校や家では味わえないものを、見知らぬ人がルールを教えてくれるという経験は良いと思う。

	K14-010	K12-016
自己紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・花見川区 ・バルーンアート、カラーセラピー。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中央区 ・パソコン指導(エクセル、ワード)。 ・会社のOB会で講師。 ・防災ボランティアで訓練の手伝い、啓蒙活動などの講師を月2回。
ボランティアセンター登録のきっかけ	<ul style="list-style-type: none"> ・大学時代に大道芸のサークルに入っていた。社会人になってから土日に小学校でボランティアをしていた。結婚を機に千葉に引っ越してきて、2年前に図書館でボランティア募集説明会の告知を見て、登録。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現役のころパソコンを使う仕事をしていた。5～6年前に早期退職したときに、図書館でボランティア登録制度を知り、登録。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもルーム、老人ホームなどの夏休み、クリスマスなどのイベントでバルーンアートの実演。 ・高齢者には30分くらい。 ・子どもの場合は大道芸のショーと組み合わせて、一緒に制作するなどで1時間くらい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・声がかかったのは昨年。ボランティアセンター登録者向けの講座の助手をした。パソコンルームでエクセルで手帳を作る二日間の講座で、受講者は20名ほど。受講者のレベルがまちまちなので、フォローしていく役割。
ボランティア活動で印象に残っていること・満足度	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが持ち帰った作品を見た親が、再び子ども会に呼んでくれたりする。 ・子どもたちが制作しているときに、遅い子ども、早い子どもがいて、進み具合が気になるが、それぞれに楽しんで満足してくれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容についていけなかった人も3～4割はいたかもしれない。主に年配の人をフォローしていった。 ・「ついていくのがやっとだった。あなたも疲れたでしょう」と逆にねぎらわれてしまった。それなりに達成感があったのではないかと思った。
ボランティアセンターの施設・組織について	<ul style="list-style-type: none"> ●センターのリニューアルについて ・知らなかった 	<ul style="list-style-type: none"> ●センターのリニューアルについて ・知らなかった。 ・映像音声加工編集ブースを使って検証をしていた。いままで安く使えていたが、どうなるのか。 ・無線LANがあると便利で楽である。 ●意見・要望 ・編集ブースを使う手続きの書類が多く、煩雑。もう少し、簡略化してほしい。 ・イベント情報を町内会の回覧などにいれてもらってはどうか。

K06-004	K08-024	K05-044
<ul style="list-style-type: none"> ・稲毛区 ・囲碁。 	<ul style="list-style-type: none"> ・稲毛区 ・環境、教育、料理。 	<ul style="list-style-type: none"> ・稲毛区 ・フルートの演奏。
<ul style="list-style-type: none"> ・就職してから囲碁を始め、60 年くらいになる。 ・退職後に何かしたいと思い、色々手を出したが囲碁になった。 ・図書館でボランティア登録を知り、登録。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3～4 年前、市民自主企画講座に申し込んだときに、職員から勧められて登録した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の頃から部活で演奏していた。大学も音大だった。 ・10 年ほど前に募集をしていると聞き、自分から申し込んだ。
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校、高齢者の囲碁教室で教える。 ・小学校で放課後に教えている。学生が助手についてくれるが、囲碁はしないのでついでに教えている。将棋も教える。 ・年度の変わり目にまた来てほしいと言われ、続けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みにこどもルームで料理教室。地場食材を使い、環境に配慮して手軽にできるものをモットーにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生の音楽に触れる機会を作りたい。 ・選曲は工夫する。日本の歌はどこも喜んでもらえる。子どもはアニメなどが多い。 ・子どもルーム、老人ホーム、イベントなどで演奏することが多い。
<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブに呼ばれたことがあるが、こちらと向こうの考えが違って、やめたことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室が終わったときに、「環境について考えよう」と言ってくれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老会から別の会に呼んでもらった。 ・喜んでくれた。一緒に歌を歌ってくれたり、踊ってくれたりする。
<ul style="list-style-type: none"> ●センターのリニューアルについて ・知らなかった。 ●意見・要望 ・国立歴史民俗博物館のボランティアもしているが、ポスターやチラシを貼ってもらう時に手続きがいる。良いところもあるが、わずらわしいこともある。チラシよりポスターが良いと助言をくれるなど。 	<ul style="list-style-type: none"> ●センターのリニューアルについて ・知らなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●センターのリニューアルについて ・知らなかった。

	K14-010	K12-016
ボランティアセンターの各種事業について	<ul style="list-style-type: none"> ●イベント情報について <ul style="list-style-type: none"> ・知らなかった。 ●ボランティアフェアについて <ul style="list-style-type: none"> ・昨年、参加した。 ・アトリウムで展示の感想のアンケートを書いてくれた人にバルーンアートを配った。予想以上に人が来てくれた。 ●ボランティア一覧名簿について <ul style="list-style-type: none"> ・ネットの名簿で知って依頼してくれたという人が多かった。 ・名簿はイメージがつかみにくいところもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●イベント情報について <ul style="list-style-type: none"> ・知っている。 ●ボランティアフェアについて <ul style="list-style-type: none"> ・知っている。 ・近くなので通りすがりに見たが、ボランティア団体以外の方がどのくらい知っているのか疑問である。図書館に来ない人は知るべきがないかもしれない。もっと一般の人にアピールしたほうが良いのではないか。 ●ボランティア一覧名簿について <ul style="list-style-type: none"> ・どのくらい活用されているのかと思う。 ・一度きりだったので、パソコンはニーズが少ないのか、講師が多いのか。
ボランティアセンターの活性化にむけて		<ul style="list-style-type: none"> ・ジャンルや対象が違うボランティアどうして連携を取るの難しいかもしれない。 ・コーディネートを広く浅くやっていくのは難しいかもしれない。そのような人材がいれば良いが。 ・演奏家が集まる場などがあると色々なことができて、広がっていくのではないか。センターが声をかけて集めるなど。 ・たくさんあるので、グルーピングが難しいかもしれない。うまい呼びかけ方がないだろうか。 ・例えば子ども対象など、ターゲットを決めてグルーピングしてみる方法もある。 ・ボランティアどうしの交流会があると良いのではないか。 ・地域振興課が町内会、自治会を把握していると思うので、「イベント情報」を送ってみてはどうか。

K06-004	K08-024	K05-044
<ul style="list-style-type: none"> ●イベント情報について <ul style="list-style-type: none"> ・知っている。 ・掲載されている講座に参加したことがある。 ●ボランティアフェアについて <ul style="list-style-type: none"> ・知っている。声をかけてもらったが、都合がつかずに参加できなかった。 ・個人で期間中全部に参加するのは難しい。 ●ボランティア一覧名簿について <ul style="list-style-type: none"> ・名簿で見たという人がいた。 ・いざというときは便利。やりたいことが決まっている人は良いのかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●イベント情報について <ul style="list-style-type: none"> ・知っている。 ・自分は知っているけれど、ボランティア活動をしていない人は知らないことが多い。もっと色々な所に置いてもらったほうが良いのではないかな。 ●ボランティアフェアについて <ul style="list-style-type: none"> ・展示で参加。講座もした。 ・イベントそのものは良いと思うが、来る人がほとんど身内なので、もっと一般の人に知ってもらいたい。 ●ボランティア一覧名簿について <ul style="list-style-type: none"> ・分かりづらいところがある。 ・自己PRやメッセージが入っていると良いのではないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ●イベント情報について <ul style="list-style-type: none"> ・知らなかった。 ●ボランティアフェアについて <ul style="list-style-type: none"> ・案内はきていたが、様子が分からなかったこと、他の人の名前も知らないことなどから辞退した。 ●ボランティア一覧名簿について <ul style="list-style-type: none"> ・活動内容が分かりにくい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの講座などを設けて人材を発掘してはどうか。 ・交流がうまくいけば、グルーピング次第で色々組み合わせができる。例えば子ども向け料理とバルーンアートなど。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア登録した当初は色々と言われたが、担当者が変わってからはなくなった。 ・担当者が変わったときに、少し失礼に感じることを言われ、それ以来、声がかからなくなった。担当者によって違うのもどうなのかなと思う。

3. 調査のまとめと考察

(1) 主な意見まとめ

グループインタビューで得られた主な意見は次のとおりである。

① ボランティアセンター登録のきっかけ

▶もともとスキルを持っている人がその分野で活動を上げたいケースと、自分の時間が増えたタイミングで、地域社会に貢献をしたい、という動機。

【主な意見】

- ・以前からボランティアセンターがあることを知っており、がまの油売りの口上をやるチャンスがあればと思い、5～6年前に登録した。
- ・昨年12月にボランティアセンターのスタッフと知り合い、経理の仕事で使っていたエクセルを生かし手帳作成の企画を持ち込み、採用された。
- ・リタイア後に何か役に立つことをしたいと思った。
- ・現役のころパソコンを使う仕事をしていた。5～6年前に早期退職したときに、図書館でボランティア登録制度を知り、登録。

▶紹介を受けたケース（8人）、自分から探して登録をしたケース（11人）であった。

【主な意見】

- ・公民館主催の育児ボランティアに参加したときにそこの講師からすすめられた。
- ・千葉市のボランティアセンターから生涯学習センターのことを聞き、登録した。
- ・もっと色々な所でできれば良いと思い、生涯学習センターがボランティアを募集しはじめたときにすぐに登録した。
- ・図書館でボランティア登録を知り、登録。

② ボランティアの満足度

▶活動に対する満足度は極めて高く、さらに良くしていきたいという高い意欲を持つ人の意見が多い。

【主な意見】

- ・小学校の体験教室で出会った子どもが大人になって訪ねてきてくれる。
- ・スポーツクラブでは高齢者が病気で震える手で作品を作ってきてくれて、休まずに通ってくる。生き甲斐を感じる。
- ・子どもが持ち帰った作品を見た親が、再び子ども会に呼んでくれたりする。
- ・他グループと差別化するために、私たち独自のもの、楽しめるものをと工夫するようになった。

③ 生涯学習センターの評価

▶生涯学習センター・ボランティア派遣事業ともに殆ど知られていない、という指摘が多い。

【主な意見】

- ・生涯学習センター、社協、市などボランティア登録がたくさんある。それがどう違うのかなどが理解できていない。
- ・高齢者、退職者向けのものというイメージが強かったがそうでないと知った。生涯学習という名前が固く感じる。
- ・一般の人がこのボランティア活動についてどのくらい知っているのか疑問である。教員だったときに、このような団体のことを知っていれば活用できたのと思う。

▶センターについては、人材や組織についてのソフト面とリニューアルを含む施設ハード面の双方について意見が見られる。

【主な意見】

- ・施設の人、一般の人にもっと宣伝できないか。例えば音楽の団体に集まってもらって演奏会をするなど、施設、一般の人に活動を宣伝できるような企画をできないか。
- ・いまのスクリーンが小さく、パワーポイントが有効に使えないので、スクリーンを大きくしてほしい。
- ・編集室を使う手続きの書類が多く、煩雑。もう少し、簡略化してほしい。
- ・イベント情報を町内会の回覧などに入れてもらってはどうか。

④事業の評価

▶ボランティアフェアについては、多くの改善に向けた指摘が挙がっている。

【主な意見】

- ・イベントそのものは良いと思うが、来る人がほとんど身内なので、もっと一般の人に知ってもらいたい。
- ・案内はきていたが、様子が分からなかったこと、他の人の名前も知らないことなどから辞退した。
- ・アトリウムで色々してみたかったが、音などの使用制限があった。
- ・ボランティアフェアでは、ここにくれば楽しいということが見えると良いのだが。

▶名簿については、内容の改善と配布場所についての意見がある。

【主な意見】

- ・自己PRやメッセージが入っていると良いのではないか。
- ・名簿だけでは分かりにくいので、希望者に限るが、ブログの情報なども掲載しても良いのではないか。
- ・名簿ほどの程度、活用されているのか、利用した人の反応はどうかを知りたい。
- ・老人ホーム、介護施設などに行くときには登録名簿を持っていくようにしている。そういう所にも名簿を配布してはどうかと思う。

⑤活性化のためのアイデア

▶ボランティア活用およびボランティアセンターの活動については、そもそも知られていないので、もっと周知することはできないか、という意見が多く寄せられた。

【主な意見】

- ・センターのロゴやマークがあるとプログラムや歌詞カードにつけられるので良いと思う。
- ・センターの旗を持って行く、ボランティアセンターからの派遣、ということボランティアも自己紹介の時に言うことで我々もセンターの告知に協力できないか。
- ・ここを利用しているからネットの検索システムのことを知っているが、そうでない人はあることすら知らないのでは利用しない。

▶ボランティアのポテンシャルを引き出すために、ボランティアの発表の場の要望などが挙げられている。(ボランティアフェアについては、前述の通り)

【主な意見】

- ・国際フォーラムでやっているようなイベントは参考になると思う。1ヵ月間、色々な催しをしながら体験してもらおう。そのような場があると良い。

▶センター事務局に求める機能としては、コーディネート機能の強化を求める声が多く寄せられている。

【主な意見】

- ・サークルに入っていない演奏者をコーディネートしてくれる仲介役があるといい。センターで積極的に繋いでいってくれるといい。そのようなことがあると、練習にも力が入る。
- ・ボランティア同士の横のつながりがない。出会う場をつくってもらえないと、なかなか出会えない。1人だけ、1団体だけでは限界がある。
- ・横のつながりがあると助け合える。助手がいると助かることも多く、共同作業することで今後のスキルの向上に役立つことにつながる。
- ・センターのバックアップ、後ろ盾を証明となるようなものがあるといい。認証、身分証明書など。

(2) 業務改善に向けた提案・アイデアまとめ

ここでは、今回の調査から得られた意見から、今後の生涯学習センター事業およびボランティア活動に関わる業務改善に対する示唆を整理する。

改善の視点その1 生涯学習ボランティアの活動の認知を高める工夫

「生涯学習ボランティア」が、まだ市民や関係団体に知られていないのが現状である。ボランティアに活動を依頼できるのは、公共施設やそこで活動しているグループ・町内自治会などに限られているが、地域の各種団体や組織を支えるのは、地域住民である市民である。市民一人ひとりが所属する組織や団体で「生涯学習ボランティア」が何か役に立ちそうだと記憶し、必要に応じて依頼をする状況になることが望ましいと考えられる。

▶改善に向けた工夫案

- センターが行う「広報・PR」力を強化
 - ・インターネットサイトの改善（コーディネートの仕組みや活動内容がよりわかるように）
 - ・名簿のリニューアル（活動内容記載の工夫で、ボランティアの人となり分かる工夫）
 - ・広報紙ボランティアタイムの配布場所の拡大（駅や商業施設での設置・回覧板の活用等）
- 活動依頼者や参加者の「クチコミ」力を活用
 - ・ボランティア活動の満足度を参加者が拡散する（参加者が自分たちの事業に活用する）

改善の視点その2 登録ボランティアの持つポテンシャルを引き出す活動

登録ボランティアに共通の意識である「人の役に立つことで自分が成長したい」気持ちを最大限に尊重して行うことが重要である。また、参加者・ボランティア同士問わず「色々な人とつながりたい」という期待に応える仕組みや活動の場、アウトプットの機会を提供することで、ボランティア活動に対する満足度が高まり、次の活動につながるという好循環が期待できる。

また、新たなボランティア登録者の受入れが組織の活性化には重要である。ボランティア登録者のきっかけとしては「自ら探して登録した」という人の割合が高いことから、ボランティア活動をしたかった時の「最初の一歩」に踏み出すきっかけを作り出し、ボランティアの輪を拡げることが求められる。

▶改善に向けた活動案

- 新たな活動の場づくり
 - ・ボランティアフェアの活性化（登録ボランティアが楽しめる場としての活用）
 - ・登録ボランティアの発表の場づくり（芸術系ボランティアの発表機会の提供）
- ボランティア希望者・登録見込み者を見つける取組
 - ・「ボランティア養成講座」「ボランティアを活用したまちづくりワークショップ」等開催
 - ・登録しやすい環境づくり（登録説明会の開催、登録体験者から体験談を聞く会の企画等）

改善の視点その3 センター事務局が担うコーディネート機能の強化

市民・ボランティア登録者ともに求めているのは、ボランティアセンターの「コーディネート機能」の充実である。これは、単に依頼者とボランティアをつなぐマッチングに留まらず、対ボランティア登録者には、ボランティア同士をつなぐことや、ボランティア登録者の活動の幅を広げること、また、市内にある別のボランティア組織との連携の可能性を探ることが求められている。また、対依頼者には、「どこで知ったか」「名簿は活用されているか」「ニーズは何か」を調査し分析することで、これまで以上に効率的なボランティア情報の提供が可能になる。

▶改善に向けた活動案

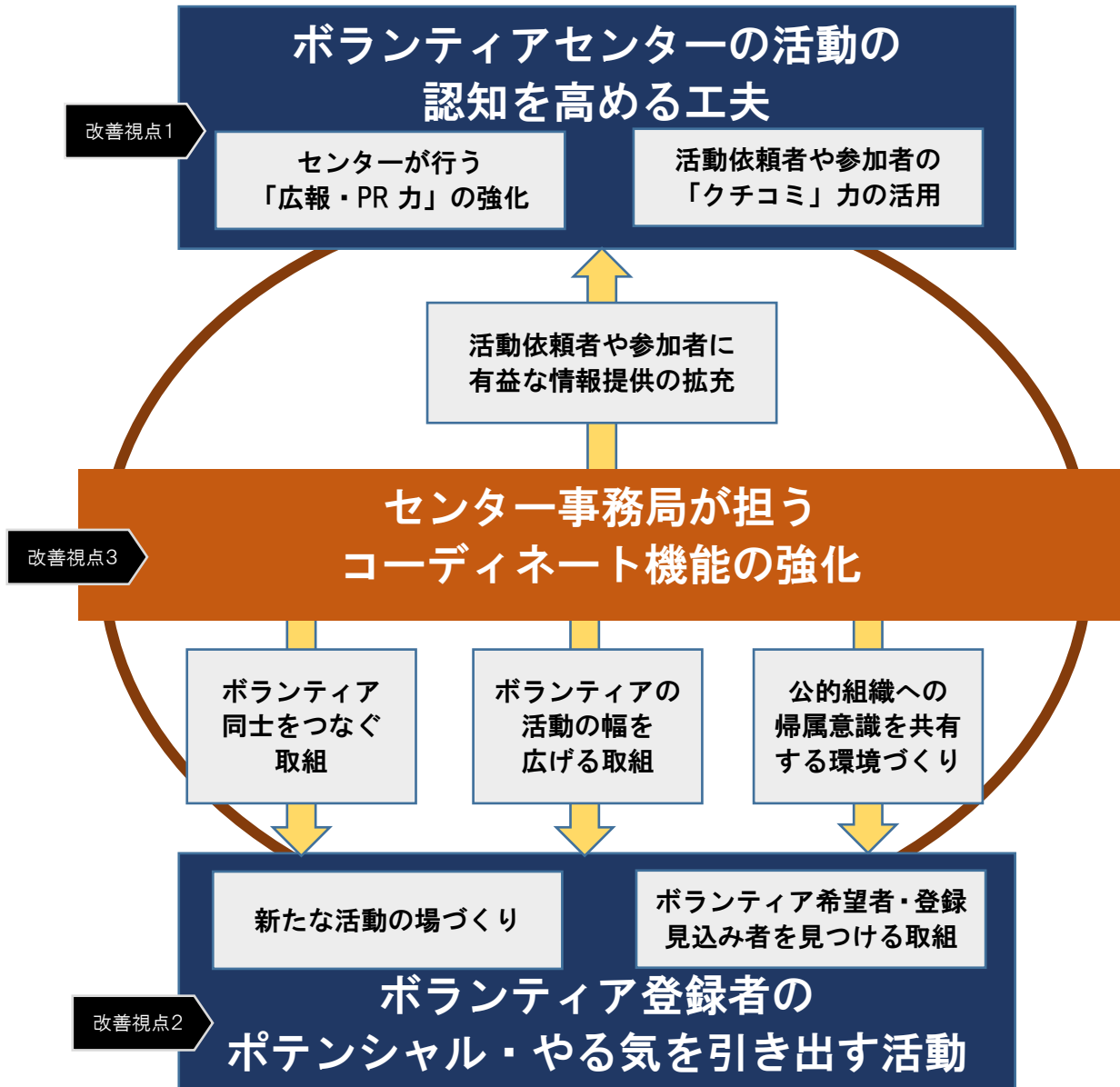
【対外部向け】

- 利用者には有益な情報の拡充
 - ・ボランティア参加者満足度調査の実施によるニーズ把握
(今回の依頼のきっかけ、名簿の活用状況、求めるニーズ)

【対内部向け】

- ボランティア同士を繋ぐ取組
 - ・茶話会やボランティア交流会、登録ボランティアスキルアップのための講座の拡充
- ボランティアの活動の幅を広げる取組
 - ・隣接業種のボランティアとの協業
 - ・複数の個人ボランティアによる講座
 - ・まず対象者を設定し、ボランティア登録者個人ができることを持ち寄る講座
(子育てママ向け講座 シニア向け講座 など)
- 公的組織への帰属意識を共有する環境づくり
 - ・「ちば生涯学習ボランティアセンターからの派遣」と自己紹介時に言う
 - ・ボランティア登録証の改善

【参考：改善の視点の関係をまとめた図】



平成 27 年度調査研究事業

「地域活動・ボランティア活動に関する調査」報告書
(調査研究報告書 24)

平成 28 年 3 月

発行 千葉市生涯学習センター

(指定管理者 千葉市教育振興財団グループ：公益財団法人千葉市教育振興財団)

〒260-0045 千葉市中央区弁天 3-7-7

(電話) 043-207-5811 (代表)

(ホームページ) <http://www.chiba-gakushu.jp>
